

ESRI政策フォーラム 「新しいGDP基準：2025SNAに向けて」

ーパネルディスカッション資料ー

静岡産業大学 経営学部
教授 牧野 好洋

経済循環

□ 人間

- 【血液】 体のなかを循環
人間としての活動を行う
 - 【脈】 いくつかの部位で血液の循環を捉える
-

経済循環

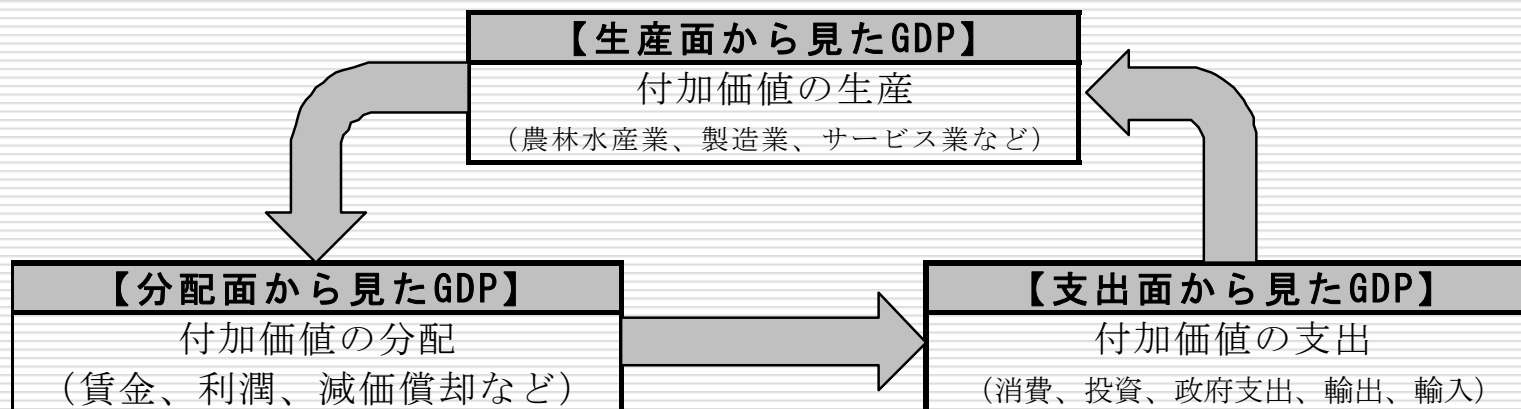
□ 一国経済

■ 【所得など】 一国のなかを循環（経済循環）

経済活動を行う

■ 【GDP】 いくつかの面にて経済循環を捉える

図1 経済循環（所得の循環）



(出所) 筆者作成。

国民経済計算

□ 経済循環

- 期首ストック (資産・負債・正味資産)
- 財・サービスの投入・産出 (産業連関)
- 所得の循環 (付加価値の生産・分配・支出)
- 資金の循環 (金融取引)
- 海外との取引 (国際収支)
- 資産や負債の価格変化等 (調整勘定)
- 期末ストック (資産・負債・正味資産)

※次期の期首ストックへ

国民経済計算

□【方法】互いに整合的な複数の勘定表

図2 国民経済計算の勘定表（国内総生産勘定）

		2020年		
		(単位：10億円)		
1. 1	雇用者報酬	283,245.4	「家計（個人企業を含む）」	(1) 第1次所得の配分勘定
			「海外」	
1. 2	営業余剰・混合所得	73,709.5	「非金融法人企業」	(1) 第1次所得の配分勘定
1. 3	固定資本減耗	135,632.6	「金融機関」	(1) 第1次所得の配分勘定
1. 4	生産・輸入品に課される税	47,919.0	「家計（個人企業を含む）」	(1) 第1次所得の配分勘定
1. 5	（控除）補助金	3,164.7		
1. 6	統計上の不突合	813.6		
国内総生産		538,155.4		

(出所) 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部『2020年度国民経済計算（2015年基準・2008SNA）』（2022年8月21日アクセス）に基づき作成。

国民経済計算

□ SNA

- 体系化された (System of)
 - 一国に関する (National)
 - T型勘定群 (Accounts)
-

国民経済計算

□ SNA改定

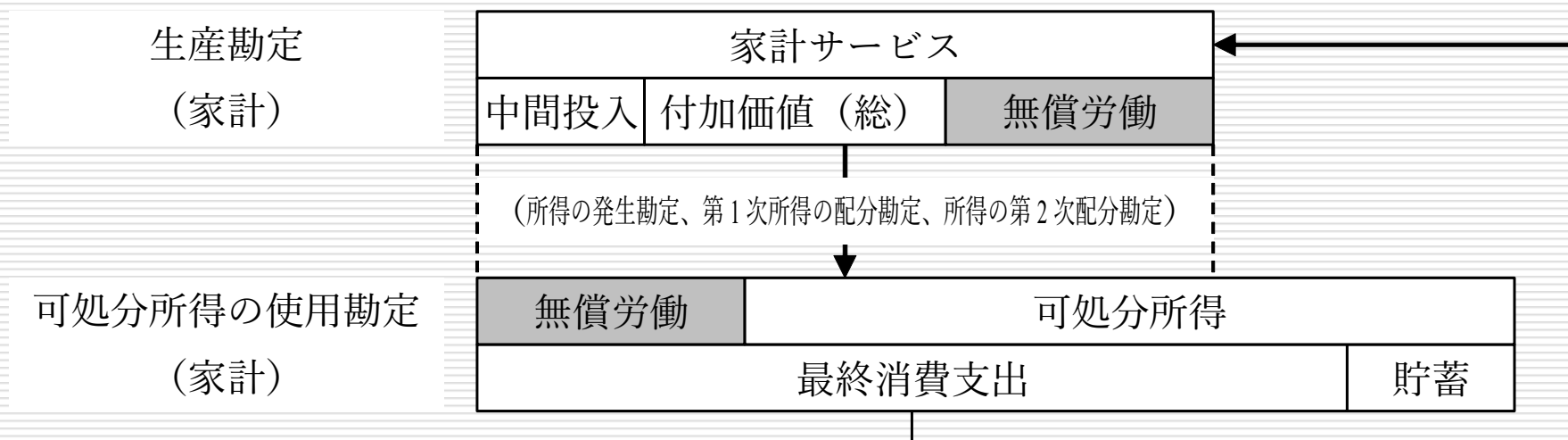
- 影響は当該部分のみならず、勘定全体に及ぶ
- 影響を【勘定体系】として、検討することが必要

□ SNAサテライト勘定

- SNAが捉える経済循環と整合的に記録範囲、経済分析を拡張できること(特徴・利点)
-

国民経済計算(サテライト勘定・私見)

図3 指標から勘定体系へ



(出所) 牧野好洋(2002)「家計サービス生産等を含む経済循環の考察—家計サテライト勘定とSNA中枢体系—」
内閣府経済社会総合研究所『季刊国民経済計算』令和4年度第1号(No.167)、pp.61~81。

コメント(デジタルエコノミー)

□ 現行SNAとの関連(確認)

- [生産の境界の拡張]というよりも
[扱いの変更・明確化](主生産物+データ産出)
- [データ利用期間1年未満]外販用
[データ利用期間1年以上]外販用+社内用

□ データ産出の扱い(質問)

- 外販用・社内用の所有権・使用権の扱い方?
 - SNSの扱い(企業の外販用?家計のボランティア?)
-

コメント(マーケティング資産)

□ マーケティング資産(確認)

- 生産資産に分類
- 固定資本形成、固定資本減耗を計上。サービス扱い
- まずは、自家開発マーケティング資産を対象としない

□ マーケティング資産の扱い(質問)

- 現行の国民経済計算における扱い？
(非生産資産、財産所得に計上されている？)
 - スポンサーシップによるマーケティング資産の蓄積？
-

コメント(無償労働)

□ 同時並行活動(確認)

- 在宅勤務(有償労働) +見守り
- 家事(無償労働) +見守り
- 睡眠(有償・無償労働外) +見守り

□ 同時並行活動の扱い(質問)

- どこまでを【生産の境界】内とするか？
 - 24時間制約のもと、どのような考え方をするか？
(賃金を調整？ 労働を配分？ 一体化した活動？)
-

まとめ

□ 国民経済計算

- 【経済循環】を
- 互いに整合的な複数の勘定表で捉える
- 勘定体系

□ SNA改定、SNAサテライト勘定

- 影響を【勘定体系】として、検討することが必要
- SNAが捉える経済循環と整合的に記録範囲、経済分析を拡張できること(特徴・利点)

□ 各項目へのコメント
